



このまちで暮らそう 移住者から見た日野町



1月21日(土)に滋賀移住・交流促進協議会と滋賀県市町振興課の主催で、オンライン移住セミナー「滋賀で暮らそう。意外と都会 ほどよく田舎がちょうどいい」滋賀のお祭り編」が開催されました。近江日野商人ふるさと館を会場に配信され、ウェブ会議システムを利用して県外から12名が参加されました。

滋賀県や日野町の概要説明、日野曳山保存会会長の外池多津彦さん(村井2区)からの日野祭の紹介と日野祭曳山囃子方交流会による祭囃子の生演奏、日野町への移住者であるフミエンツキ ショーンさん(村井1区)と野矢美幸さん(西大路2区)へのインタビューが行われました。ここでは、お二人のお話の一部をご紹介します。

【司会】まず、日野町に移住されたきっかけを教えてください。

日野町の人みんなすぐに仲良くなります

【フミエンツキ ショーンさん(以下ショーンさん)】私は高校生のときに家族とアメリカに引っ越して、日本に来るまではずっとミシガン州に住んでいました。妻が日野町出身で、子どもが2歳ぐらいのときに滋賀に来ました。

してきました。日野町は私のイメージしていた「田舎」とは違って、コンビニエンスストアもスーパーマーケットもなんでもある「小さな街」です。逆に今は大きな街には住めないと思います。

はじめは田舎に住むことに不安があって日野町に住もうとは考えていませんでしたが、だんだんと日野町を知って好きになり、家を建てて引っ越

【野矢美幸さん(以下野矢さん)】私も夫が日野町の出身です。東京都で結婚して出産したのですが、子どもたちをもっとのびのびとした環境で



育てたいという思いから移住を決めました。私自身の地元である鹿児島県でも良かった

オンライン移住セミナー配信の様子



↑祭囃子の生演奏をされた日野祭曳山囃子方交流会の皆さん
↑写真左が外池多津彦さん、右は司会の滋賀県市町振興課清水美子さん

フミエンツキ ショーン さん

ポーランド出身のショーンさんは、家族で移住したアメリカで日野町出身の方と出会い結婚されました。その後来日し、近江八幡市を経て2010年に日野町に移住されました。日野祭を通して出会った仲間とともにヒノブルーイング株式会社を設立し、「祭りに合う」クラフトビールを製造されています。

案内

る物語です。ご視聴ください。

らし

生の美郷から移住ぐる物語





のですが、滋賀県は短時間で都会に出られるという便利さもあるので、夫の地元である日野町を選びました。

【司会】実際に日野町に住まわれているかがですか。ここに住んで良かったと思うことやこれは住んでみないとわからなかったということはありますか。

【シヨーンさん】日野の人はみんなすぐに仲良くなりません。特に、日野祭ではみんなが同じことを考えて同じことをするので、人と人の間の壁がすくなくなっていて、すごくうれしいです。

【野矢さん】実際に住んでみて予想通りだったのは自然がすごく多くて、子どもたちと場所を選ばず遊ぶことができるということです。また、子どもが祭りに参加できるような環境がいいなって思ったことも引越してきた理由の1つで、去年から長男は祭囃子の練習にも参加させてもらったりしています。あと、日野

町もそうですが滋賀県はイベントが多いと感じます。田舎って暇そうというイメージがありましたが、全然そんなことはなく、すごく充実した日々を送れる場所だと思っています。

【司会】逆に、予想外で驚いたことはありますか。

【野矢さん】シヨーンさんの話にもありましたが、人口の割にはコンビニエンスストアが多いっていうのが意外なところですね。あとは、移住者が多くて、最近だけではなくもっと以前からもいらっしゃる印象です。

【司会】最後に、日野町の自慢や好きなところを教えてください。

【シヨーンさん】なんといっても日野祭です。そこにいるんな友達ができたり、今の会社の仲間2人とも出会った

日野町はすごく充実した日々を送れる場所です



し、すごく大事なコミュニティのイベントだと思っています。5月2日・3日は最高です。

【野矢さん】人口2万人の町なので、顔見知りですぐできて、困ったことがあったら私もすぐ頼めるし、すぐに頼ってもらえるという関係性ができるっていうのが、日野町の1番好きところです。

【司会】ありがとうございます。

◆問い合わせ先 企画振興課 企画人権担当 ☎0748-52-6552

野矢 美幸さん

鹿児島県出身の野矢さんは、東京都で日野町出身の方と結婚されました。のびのびと子育てできる環境を求めて2016年に日野町へ移住し、築100年を超える古民家で暮らしておられます。現在は勤めていた会社を退き、自治会事務局を担いながらまちづくりに積極的に取り組まれています。

オーディオドラマと短編映画のご

日野町を舞台として制作された、日野町の魅力を感じられるスマートフォンなどで下記の2次元コードを読み取り、ぜひ

オーディオドラマ 「わたしが日野町に恋をした話」

ナナミとマキが女子旅で訪れた日野町での物語（全5話）



短編映画「ひのく

日野町で暮らす高校と会社を辞めて東京してきた奈々未をめ